

# 30年の歴史に幕

## 2024さくら道国際ネイチャーラン

1994年（平成6年）に第1回が開催され、30年の歴史を誇る「さくら道国際ネイチャーラン」が今大会でフィナーレを迎えました。

太平洋と日本海を桜のトンネルで結びたいと夢見た旧国鉄バス車掌、故佐藤良二さんの遺志を継ぐと始まったこの大会は、愛知県の名古屋城から郡上市内を経由し、石川県金沢市の兼六園までの250キロを36時間以内に駆け抜ける国内有数のウルトラマラソンです。これまで多くのみなさんに支えられてきましたが、ネイチャーランを取り巻く環境は30年前とは大きく変化しており、ボランティアや運営スタッフの確保が難しくなってきました。この状況ではランナーの安全確保が十分にできなくなるとの判断から、今大会をもって終幕とし、ラストランとして有終の美を飾るため、佐藤良二さんの生まれ故郷である白鳥町をゴールとした110キロのハーフ開催となりました。

これまで30年の間無事に開催

できましたのは、大会運営を支えていただいたボランティアのみなさんやご後援ご協賛いただいたみなさんのおかげです。また、市民のみなさんにも長い間応援いただき、本当にありがとうございました。

### 4月19日（金） 開会式（名古屋市内）

佐藤良二さんの半生を描いた「さくら道」の著者、中村儀朋氏を招き、記念講演会を開催しました。



▲開会式会場（K K R ホテル名古屋）

### 4月20日（土） スタート（名古屋城）



▲No. 6エイド  
NEXCO中日本のみなさん



▲名古屋城正門前をスタートするランナー

### エイドステーション（水分や 食べ物の補給所）での交流

コース沿いに設置された18箇所のエイドで、ボランティアのみなさんがランナーをサポートしました。



▲No. 19エイド  
大和中学校のみなさん

### 4月20日（土） 感動のゴール（白鳥振興事務所）

白鳥小学校児童のみなさんがランナーを迎えました。また、株式会社大西様のご厚意で、ランナーは「かみほの湯」で疲れを癒しました。



▲ランナーを迎える  
白鳥小学校のみなさん



▲9時間22分のトップでゴール  
早坂研さん（宮城県栗原市）



▲日置前市長へサプライズ



▲大会長の山川市長から  
完走証を授与



▲桜の記念植樹

4月21日（日）  
力走を終えて記念植樹と閉会式（白鳥ふれあい創造館）  
完走した74名のランナーに完走証を授与しました。サプライズで、ランナーのみなさんから日置前市長へ任期16年の完走証が進呈されました。